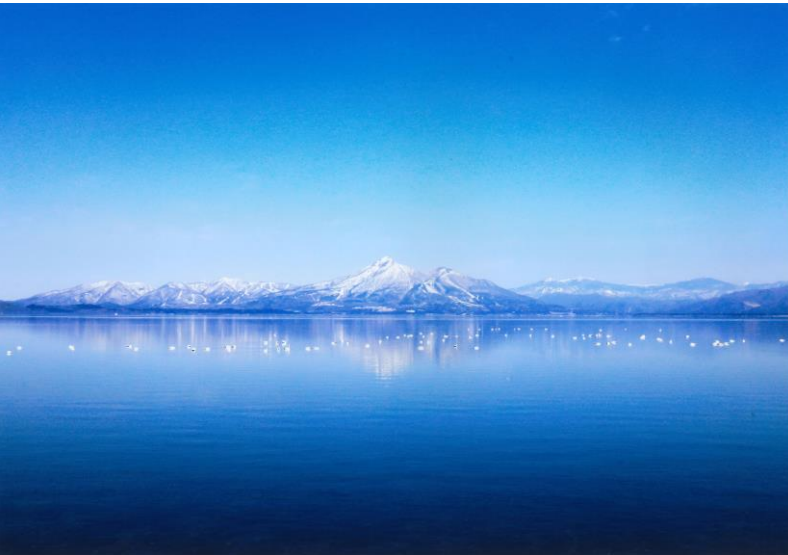


猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞「静寂」 齋藤俊典



優秀賞「まもなく北帰行」 木田敦男



優秀賞「歴史への入口」 吉田政孝

「水環境ニュース」では、県内各地で取り組まれている水環境活動など、水環境に関する情報を発信しています。

今号の記事内容

○ふくしまSDGs推進フォーラムが開催されました

○水環境活動団体によるZOOM懇談会が始まりました

○メンテナンス大賞優秀賞を受賞

○第14回全国源流サミットin福島県埴町

○流域水循環協議会研修会を開催しました

○各種ご案内

# ふくしまSDGs推進フォーラムが開催されました

ふくしまSDGs推進フォーラムが1月20日にビッグパレット福島で開催され、SDGsの達成に向け、パネルディスカッションや事例発表、参加者交流会などが行われました。

水環境などを研究テーマにされている福島大学環境システム研究室による発表やワークショップ、また、県内の水環境団体の皆様にもご参加をいただきました。

## ○パネルディスカッション



内堀知事、有識者の方々と取組団体の事例発表者らが意見交換を行い、SDGsの達成に向け取組を一步ずつ着実に進めるよう呼びかけました。

## ○福島大学 川越教授による取組発表



流域を一体で考えて連携していくためには、お互いに、水環境を「知って」「見て」「触る」、更に「考える」ことが必要で、そのためのツールとしての流域ネットワークの開発の取組について発表していただきました。

## ○参加者交流会



フォーラムに参加いただいた水環境団体の方々にも交流会に参加していただき、異業種の方々との意見交換をとおして交流を深めました。

## ○福島大学環境システム研究室によるワークショップ

水環境活動団体の活動や、流域ネットワークづくりに向けたプラットフォームの構想についてパネル展示や説明を行いました。



## ふくしまSDGsプラットフォーム会員募集中

プラットフォームについての詳しい内容やお問合せはこちらまで  
 福島県復興・総合計画課  
 TEL:024-521-7109  
 Mail:sougoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまSDGs推進プラットフォームはこちら



# 水環境活動団体によるZOOM懇談会が始まりました

Q.どうして始まったの？

A.福島大学の川越先生が、流域関係者の一体化や団体が抱える後継者不足などの解決に向けて**自由に意見交換ができる場を作ることを目的**として始めました。

Q.いつやっているの？

A.これまで11月と1月に開催され、**2か月に1回程度のペースで、平日の19:30~21:00の時間帯**で開催しています。(次回3月開催予定)

Q.どんな人が参加しているの？

A.昨年、石川町で開催された福島県水環境団体交流会(さらさら)に参加した方々を中心に10名程度で開催されています。水環境に関心のある方であれば**どなたでも参加できます**。

Q.これまでどんな話し合いがされたの？

- A.主な内容は以下のとおりです。
- ・河川に興味のある学生を集めるためにどうするか
  - ・水環境団体の活動を紹介するプラットフォームの作成について
  - ・ふくしまSDG推進フォーラムでの発表や出展について
  - ・河川の上流から下流までの映像の作成について

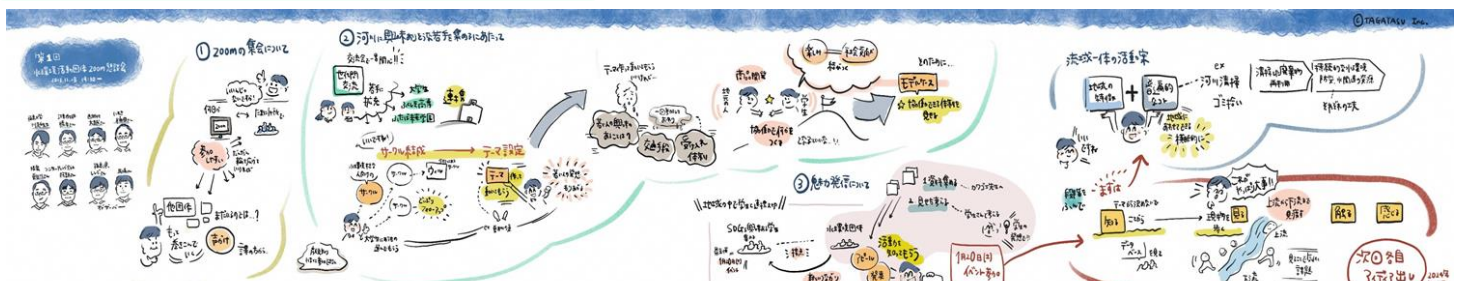
**参加者募集中!**です。

ご希望の方は下記までご連絡ください。

福島大学川越先生  
 Mail:Kawagoe@sss.fukushima-u.ac.jp  
 または、福島県復興・総合計画課  
 Mail:tochi\_mizu@pref.fukushima.lg.jp



スマホでも参加できます!



【第1回懇談会の概要 ZOOM懇談会のグラフィックレコーディング株式会社たがやす 笹本さん 提供】

NPO法人会津阿賀川流域ネットワークでは、永年、地域と協働した住民参加による堤防管理や除草作業などの取組を実践するとともに、河川に関連した学習事業などにも発展させている功績が認められ、第7回インフラメンテナンス大賞の優秀賞を令和6年1月に受賞されました。

※インフラメンテナンス大賞は、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することで、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に、平成29年から実施。国土交通省など関係8省庁の主催。



石田理事長、佐藤事務局長が県庁を訪問され、五月女企画調整部長に受賞の報告をしていただきました。

石田理事長は「地域住民の防災意識や水環境保全の意識を高められるよう、今後も努力していく」と、意気込みを語ってくれました。



左から 佐藤 信一 事務局長  
石田 明夫 理事長  
五月女 有良 県企画調整部長

## 優秀賞



人力による肩掛式刈払除草



大型ラジコンによる遠隔式除草



ロングリーチ式機械除草

河川・ダム・砂防・海岸分野

## 阿賀川の住民参加型除草作業に関する取り組み

### 取組概要

阿賀川直轄管理区間では、古くから沿川集落の住民が河川管理の一環として堤防除草を実施してきた歴史がある。生活環境の近代化や河川管理の請負化が進むなかでも、住民参加の堤防除草は継続され、河川管理者である北陸地方整備局阿賀川河川事務所が、住民参加型による堤防除草及び堤防点検支援等の活動を公募し、NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク(以下「NPO」)が受託している。維持管理への住民参加は、自らが利用する社会インフラの維持管理に関わることで、当該インフラの状況への理解が深まり、問題意識を共有することができる点で大きな意味を持つものである。

### 受賞理由

永年の地域と協働した堤防管理として受け継いだ取組で、河川に関連した学習事業にも発展させており、河川維持管理への大きな貢献がなされていること、堤防除草作業の取組に加えて、その作業を通じて不法投棄行為や堤防等の変状などの河川管理上支障となる事象の発見、管理者への随時報告されていることが評価された。

### 取組のポイント

会津地方は農業を営む住民が多く、除草技能の活用、農業用の草刈り機も活用できる環境にあることに加え、NPOが参加者及び団体公募の窓口を有すると共に、作業の安全管理等の業務を実施する体制を整えていることが住民参加による維持管理を可能としている。また、NPOの主導により、参加者の高齢化・省力化対策として集草作業の軽減化、ロングリーチ式除草機械の導入による機械刈りの拡大等にも取り組んでいる。さらに、NPOはこの活動の収益を会員活動の原資として活用し、会津地方の川文化の保全・創出に努めている。

### 受賞者について



特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク 理事長

### 受賞者

特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク  
国土交通省北陸地方整備局 阿賀川河川事務所

### コメント

この度は、インフラメンテナンス大賞優秀賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に存じます。2004年から水環境保全の啓蒙及び流域水環境に関わる事業として、阿賀川流域の堤防除草と堤防点検支援をするなど、河川管理者である阿賀川河川事務所と連携を図りながら、流域住民の皆様と共に取り組んで参りました。これまで本事業にご理解・ご協力を賜りました全ての皆様に、深く御礼申し上げます。今後も、自然豊かな阿賀川等を、住民参加型で管理する全国的にも数少ない形態の事業を継続し、阿賀川流域住民の皆様への防災意識の向上と水環境保全に関心を持っていただけるよう、一層努力していく所存です。

### 団体概要

特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク(AABN-アープン-)は、水環境保全のために阿賀川流域住民とともに、阿賀川流域の治水、安全確保、河川管理活動、地域づくり支援の活動をしています。主に、阿賀川・湯川・日橋川の堤防除草と堤防点検支援を、沿川住民と共に活動しております。他にも、川に関する活動をしている団体への助成、水環境に関する広報活動、総合的な学習の支援をしています。

### 問い合わせ先

特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク  
TEL 0242-27-2921 FAX 0242-27-2922  
メール aga-river@aabn.or.jp

## 第14回全国源流サミットin福島県塙町

【ホームページの検索は】

全国源流サミット

検索

第14回全国源流サミットが令和5年10月13日に塙町で開催されました。全国源流の郷協議会に加盟する30市町村の首長をはじめ、一般参加者約150名が参加しました。

今年度は、「源流を守り国土保全を推進するために」をテーマに、源流域周辺の自然を守り次世代にどう引き継いでいくかなどの議論がなされるなど、各自治体の現状や問題点について話し合われました。



# 流域水循環協議会研修会を開催しました

令和6年2月1日（木）福島県環境創造センターにて、「流域治水」をテーマに研修会を実施し、健全な水循環の持続的な形成や流域治水の取り組みについて学びました。

## ■研修会の実施内容

### (1) 基調講演

「健全な水循環の持続的な形成」に向けた活動の推進

福島大学共生システム理工学類 教授 川越清樹 氏



### (2) 取組事例発表

阿武隈川での流域治水の取り組み（遊水池整備事業等）

国土交通省福島河川国道事務所 流域治水課長 秋田桜彩 氏



令和5年9月豪雨（新川・宮川流域）等、近年の気候変動による影響について講話いただき、健全な水循環を持続的に形成していくことの大切さを学びました。

水に関わる様々な対応に向けてこれから必要なこと

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 与えられるだけではなく、産官学民が協働、連携して与えられて・与えて・「得る」こと
- 次世代につないでいくこと
- よい「行動」に昇華させるため、先ず情報共有すること



ご清聴ありがとうございました。

令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえた新たな遊水池群の整備や、阿武隈川水系流域治水プロジェクトの取り組みについて学びました。

### 阿武隈川上流遊水地群の整備

国土交通省

遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減。

遊水地の役割

【平常時のイメージ】

【洪水時のイメージ】

## ★各種ご案内★

【ホームページの検索は】

福島県 水環境活動 企画提案 [検索](#)

福島県 水との共生 出前講座 [検索](#)

福島県では、豊かな水循環の保全と健全な水循環の継承に向け、県内の様々な団体から、水環境活動等の企画を募集しています。こんなことをしてみたいけど資金がない、どうやれば良いのか分からないなどのことがあれば、復興・総合計画課まで御相談ください。

県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会などに講師を派遣しています。講師の派遣を希望される団体の方は御連絡ください。

## イベント企画 募集中

ふくしまの水に触れよう

応募締切 令和6年 4月19日

福島県では、豊かな水循環の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。このたび、より地域に即した活動を実施するため、各流域で様々な取組をされている皆様から、県と協力して実施する活動の企画案を募集します。

対象：福島県内で水環境活動を実施している団体（非営利団体に限りませう）

条件：企画書を作成いただきます。詳しくは、水環境活動企画提案募集の案内（印刷）を御覧ください。

企画内容：県内各流域の上下流及び流域間の連携や交流の機会を充実させることを目的とした水環境活動（※主催は、県となります）

参加対象者：①中stream地方 ②合流地方 ③下stream地方 上記①～③の中で、活動場所が属する地方の個人や企業、団体など

実施時期：5月～11月の間に実施するもの

結果：県が支出します。詳しくは、水環境活動企画提案募集の案内（印刷）を御覧ください。

【申込み・問い合わせ先】福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当  
電話：024-521-7123 福島県 水環境活動 企画提案 [Q](#)  
FAX：024-521-7911 Mail: tochi\_mizu@pref.fukushima.lg.jp

## 検討会企画 募集中

応募締切 令和6年 4月19日

福島県では、豊かな水循環の保全と健全な水循環の継承に向け、様々な主体による水環境活動を支援しています。このたび、各団体における水環境活動の充実を図るため、活動内容の検討から実施までを一連で行う取組を支援することとしました。水環境活動の充実や活性化を図りたいと考えている団体の皆様から、県の協力により実施する検討会の企画案を募集します。

対象：福島県内で水環境活動を実施している団体（非営利団体に限りませう）

条件：企画書を作成いただきます。詳しくは、水環境活動検討会企画提案募集の案内（印刷）を御覧ください。

企画内容：県内各流域の上下流及び流域間の連携や交流の機会を充実させることを目的とした水環境活動（※主催は、県となります）

参加対象者：（活動）団体の構成員及び地域の個人や企業、団体など

実施時期：随時

結果：県が支出します。詳しくは、水環境活動企画提案募集の案内（印刷）を御覧ください。

【申込み・問い合わせ先】福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当  
電話：024-521-7123 福島県 水環境活動 企画提案 [Q](#)  
FAX：024-521-7911 Mail: tochi\_mizu@pref.fukushima.lg.jp

## 出前講座のご案内

水との共生

県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会などに講師を派遣する取り組みです。

御応募 お待ちしております

「水との共生」プランの目指すもの

流域を対象とした水環境保全活動の必要性

森林の地下水かん養から始まる水循環等の講座

水生生物による水質判定のための水生昆虫同定

水環境活動団体の実践事例紹介、自然観察講座

中小河川の河口開塞とその対策、自然豊かな川づくり

河川の水量確保と水質保全、家庭排水と水環境、私たちの身近な水環境

猪苗代湖流域の水環境改善、清流復活の課題を探る

水資源を理解する体験ゲーム

派遣期間：令和7年3月まで（予算の都合等により、年度途中で申込を締め切る場合があります。）

派遣内容：ご希望に応じ自由に設定できますのでご相談ください。

講師：学習経験者、実践経験者、職員など（要望に応じて、講演内容や講師について調整します。）

講演時間：概ね2時間以内

費用：無料（講演料等を県が負担します）

申込期間：令和7年3月まで（予算の都合等により、年度途中で申込を締め切る場合があります。）

注意事項：営利、宗教または政治活動を目的とする場合は対象となりません。

その他：詳しくは、「水との共生」出前講座のご案内（印刷）を御覧ください。

【申込み・問い合わせ先】福島県 企画調整部 復興・総合計画課 水管理担当  
電話：024-521-7123 福島県 水との共生 出前講座 [Q](#)  
FAX：024-521-7911 Mail: tochi\_mizu@pref.fukushima.lg.jp

発行者 福島県復興・総合計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号（福島県庁本庁舎5階） TEL (024) 521-7123

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/>

Facebook <https://www.facebook.com/fukushimanomizu/>

Instagram [https://www.instagram.com/fukushima\\_no\\_mizu/?hl=ja](https://www.instagram.com/fukushima_no_mizu/?hl=ja)

